市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報

NO.32
平成24年
(2012)

環境ひらかた 冬号

今こそ節電!本気で省エネ!

→昨年の受賞式の様子

←昨年の団体によるクラフト教室様子

環境問題を子供たちにどう伝えるか？

昨年は３月に起こった原発事故により今まで以上にエネルギーについて大人から子供までもが真剣に考えさせられた年だったと思います。ひらかた環境ネットワーク会議でも啓発活動を進めていく中、例年以上に自然エネルギーに関する問い合わせもあり、市民の環境に関する意識の高さがうかがえた年でした。

そんな中、今年度も2012年２月４日(土)にメセナ枚方にて「ひらかたエコフォーラム」を開催します。エコフォーラムは市民の皆さんに環境問題や環境活動を知ってもらおうと毎年開催するものですが、今年で６回を数えます。

今年のテーマは「今こそ節電！本気で省エネ！」です。

午前は市民や団体、事業者の環境表彰、午後は11月からスタートしたエコチェックDAYの報告会・抽選結果発表、松村暢彦氏(大阪大学大学院工学研究科准教授)によるワークショップ「環境と私たちの暮らし」を子供でも分かりやすいようゲームなど交えて行います。又、終日、環境に取り組んできた学校園や企業・団体によるブース展示も行なっています。省エネ無料診断や前回好評だった、枚方名産品の無料試食、環境クイズ大会など楽しいイベントが盛りだくさん！ぜひご家族そろってお越し下さい。

→昨年の企業ブースの様子

←昨年の学校園の展示の様子

エコチェックシート5万枚配布!!

3回目となった“ひらかたエコチェックＤＡＹ”ですが、皆さんは参加されましたか？今回初めてエコチェックシートに取組んだ方は、節電を心掛けた生活が温暖化対策にも繋がっていることを改めて認識して頂けたのではないでしょうか？

又、昨年は大きな震災があったことで、いつも以上に節電を心掛ける方が増えたと思いますが、いざ節電に取り組んでみるとそれほど、大変な事でもないと感じられたのではないでしょうか？

ひらかた エコ チェックDAY

エコチェックシート

そこで、これを機会に電気・ガス・水道の削減量を数字で見てみませんか？省エネへの努力・工夫を数字で検証するためにも、削減量を知ることが大切です。今回のエコチェックシートにも掲載していましたが、毎月（水道は二ヵ月に1回）手元に届けられる領収書～使用量のお知らせ～で“前年同月の使用量”を簡単に比較することができます。

来年のエコチェックＤＡＹでは「省エネコンテスト（仮称）」の実施を予定しており、削減量が多かった方へは素敵なプレゼントも計画しています。

【共催】枚方市
【協力】枚方市地球温暖化対策協議会
【後援】枚方市教育委員会
【協賛団体】㈲アーティス、大阪ガス㈱、恩地食品㈱、関西医科大学付属枚方病院、関西リサイクルシステムズ㈱、京都信用金庫、呼人堂、㈱小松製作所大阪工場、三和レジン工業㈱、全労済共済ショップ枚方、㈱大黒屋、㈱たまゆら、農園杉・五兵衛、㈱初田製作所、（有）枚方第一、㈱ホワイトマックス、(社)ホワイトネット未来号
【協力団体】
＜枚方市地球温暖化対策協議会 会員団体＞
イズミヤ㈱枚方店、㈱大阪ミツカン大阪工場、恩地食品㈱、(学)関西外国語大学、関西電力㈱、北大阪商工会議所、京セラミタ㈱枚方工場、㈱クボタ枚方製造所、久門紙器工業㈱、㈱くらこん、㈲ケイ・トラスト、㈱ケイ・キャット、京阪バス㈱、京阪電気鉄道㈱、㈱京阪流通システムズ（KUZUHA　MALL）、㈱京阪レジャーサービス、コマツゼネラルサービス㈱大阪支店、㈱サンエスモータース、サンレー冷熱㈱、生活協同組合おおさかパルコープ、誠信建設工業㈱、㈱ダイサンエンタープライズ、タイロン㈱、司電機産業㈱、㈱D.ダイワ、㈱西川造園、西日本三菱自動車販売㈱、日本珪砂㈱、日本精線㈱枚方工場、日本電音㈱、ネッツトヨタ新大阪㈱、初木工業㈱、枚方雇用開発協会、枚方市商業連盟、枚方信用金庫、保証運輸㈱、ホソカワミクロン㈱、㈱ヤマジ、ユニオンケミカー㈱、理研ビタミン㈱大阪工場
＜店舗・企業＞
おおさかパルコープ西くずは店、カラオケ喫茶通行止め、北村みそ本家、くらわんかギャラリー、㈱コミュニティスタイル、阪本登記測量事務所、マニカフェ、ミナミ加工、MogaJogaDining 枚方宿

皆さまご協力ありがとうございました

ストップ ザ 温暖化

昨年のエコチェックＤＡＹは多くの人の輪と繋がりで、約 9000（エコチェックシート回収枚数）もの数字を達成することができました。さて、今回のエコチェックＤＡＹ！どのような結果が出るでしょう？現在、ボランティアによる集計が始まっていますが、集計や回収をしていて感じることは取り組みそのものが大きく広がったと言うことです。

その一つに学校園における回収率が上がった事や、提出シートの回答に無効なものが少なくなった事があります。

又、11 月～12 月にかけて行なったエコチェックＤＡＹのＰＲ活動でも、省エネに対する人々の関心が非常に高く感じられました。

全ての集計が終わり、素晴らしい結果が出ることをご期待下さい。尚、中間報告を 2012 年 2 月 4 日にエコフォーラム（関連記事 P1）で行います。プレゼント抽選結果発表も行いますので、皆さまお楽しみに♪

＜保育園＞愛和保、青桐保、宇山光の子保、川越保、ギンガ保、くずはあけぼの保、くずは光の子保、光善寺保、香里ヶ丘保、香里敬愛保、親愛保、第二徳風保、第2長尾保、第二光の峰保、鷹塚山保、つくし保、津田保、常称寺保、徳風保、中振敬愛保、茄子作保、光の峰保、枚方たんぽぽ保、船橋保、牧野保、招堤保、まりも保、三矢ゆりかご保、明善第弐保、明善保、村野保
＜幼稚園＞香里幼、樟葉南幼、樟葉幼、桜丘幼、さだ西幼、さだ幼、田口山幼、津田幼、殿山第二幼、枚方幼、牧野幼
＜小学校＞伊加賀小、磯島小、開成小、香陽小、春日小、樟葉北小、樟葉小、樟葉西小、樟葉南小、交北小、五常小、桜丘北小、桜丘小、さだ西小、さだ東小、菅原東小、菅原小、田口山小、津田小、殿山第一小、殿山第二小、中宮小、西牧野小、東香里小、氷室小、枚方第二小、枚方小、平野小、船橋小、牧野小、明倫小、山田小、山田東小、山之上小
＜中学校＞樟葉中、樟葉西中、桜丘中、さだ中、招提中、杉中、第三中、第二中、第四中、津田中、長尾中、長尾西中、中宮中、渚西中、東香里中、枚方中、山田中
＜高校＞府立なぎさ高校
＜地域＞北片鉾自治会、北樟葉コミュニティー、北船橋町自治会、協和会、くずはセンチュリータウン住民の会、くずはタワーシティ自治会、樟葉野田北自治会、樟葉美咲１丁目自治会、樟葉美咲２丁目自治会、樟葉美咲３丁目自治会、樟葉面取１丁目自治会、咲が丘自治会、田村住宅自治会（たむらゆうゆう会）、樋之上町自治会、花園南連絡協議会、樟葉台自治会、樟葉朝日住区自治会、新船橋本町自治会、西船橋自治会、船橋二の宮自治会、船橋本町２丁目自治会、船橋本町自治会、楠葉並木自治会、樋之上住宅自治会
＜団体・その他＞天の川を清流にする会、彩、（特活）エコ・スマイルひらかた、エコ手づくりの会　楽楽ひろば、大阪府地球温暖化防止推進センター、沖縄首白流誠道館空手道場、きつつき、きんき環境館、（特活）コーチ―ズ大阪、国際ソロプチミストー枚方・中央、大人の算数教室、自助具公房、（特活）森林ボランティア竹取物語の会、長尾まち美化委員会、（特活）日本ウミガメ協議会、枚方いきもの調査会、（特活）枚方エコサイクル、枚方観光ボランティアガイドの会、枚方市菊人形の会、（財）枚方緑化協会、（特活）ひらかた地域通貨ひらりの会、枚方市・枚方東消防署、（特活）ひらかた市民活動支援センター、（社）枚方青年会議所、枚方市子育て支援室、枚方食品公害と健康を考える会、ホースフレンズ・枚方セラピー牧場、樋の上ファミリーズソフトボール、ヤンチャーズ

公共交通部会

“バス!のってスタンプラリー” 今も、そしてこれからも開催し続けるその理由は・・・

もうすっかり恒例となった年 2 回の「バス!のってスタンプラリー」ですが、12 回目は 11 月 5 日(土)に開催しました。あいにく雨のぱらつく中での開催でしたが、130 名もの参加がありました。

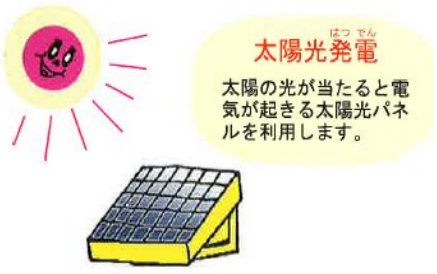
ところでこの「バス!のってスタンプラリー」を開催するには、毎回スタンプポイントやコースの設定、その他の準備や当日の運営等々、大変な努力と労力を要します。しかし、そうした中、6 年もの長きにわたって開催し続けているには理由があります。それは「公共交通をもっと利用してもらいたい。まちの魅力をもっと知って欲しい」その為には“身近な乗り物であるバスの利便性やまちの魅力のスポットをもっと知ってもらうことが先決！”との思いで頑張っているのです。この思いが伝わっているか一つの指標として、参加者のアンケートに「これからもっと公共交通に乗ってみようと思いましたか？」の問いで 92%の人が「思った・とても思った」と答えています。この数字を見る限りでは、“公共交通の利用が増える!” と期待が膨らむのですが、実態は、なかなかそう単純にはいきません。思うことと、行動することは、また別問題なのかもしれません。かくして、思いが行動に繋がり、もっとたくさんの人が公共交通を利用する日が来るまで、公共交通部会の活動は続くのです！

↑↓11 月 5 日の参加者の様子

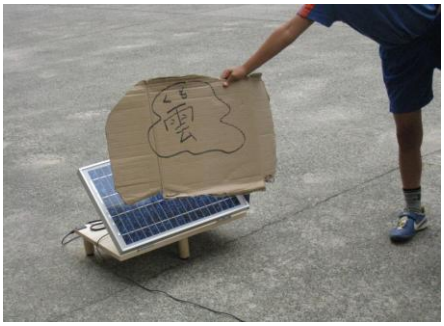
環境教育サポート部会

新環境副読本の制作を目指して

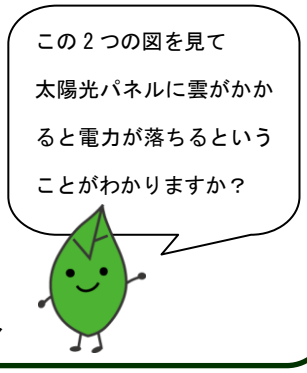
小学生のお子様をお持ちの皆さん、枚方市環境副読本「わたしたちのくらしと環境」をご存じでしょうか。環境副読本チームでは、昨年、その勉強会を開き「もし、私たちのアイデアで環境副読本を作るなら」という事で、副読本の見直しを行いました。検討を重ね、原案はできたのですが、実際の現場では「使い勝手が良くなければ使われない」、「ワークシートのような形式が望ましい」などの意見があり、今年度はそういった意見を受け、改良・改善を目指しています。しかし、なかなか難しいもので、例えば図−１と図−２とのつながりは環境教育サポート部会の私達にはすぐ分かるのですが、他の方や小学生にとってもそうなのでしょうか。皆さんはいかがですか。



図−1　平成 23 年度版枚方市環境副読本
「わたしたちのくらしと環境」44 頁の図の一部



図−2　2011/6 伊加賀小学校出前授業の一コマ



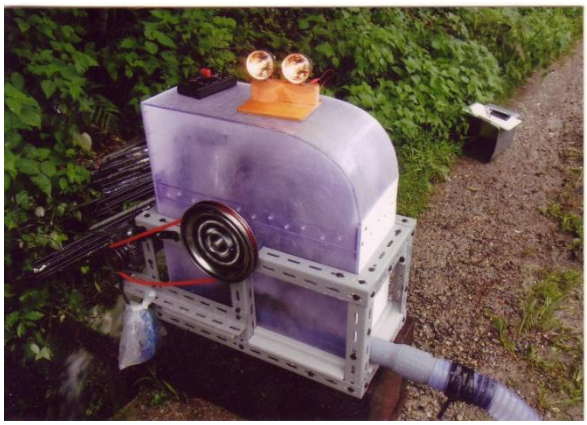
自然エネルギー部会

枚方で更なる自然エネルギーの可能性を広げる

自然エネルギー部会では、2011 年 7 月の特別セミナーに続いて 9 月、10 月、11 月と、ひらかた自然エネルギー学校のセミナーを実施し、延べ 70 名の参加がありました。3 月の東日本大震災に重なって起きた原発事故のショックから、自然エネルギーへの関心が大きく動き、私たちの活動の責任を更に感じた年でした。

自然エネルギーについて、学び、触れ、実践する機会の提供をと“枚方初のひらかた自然エネルギー学校”を開校したのが 2005 年。2007 年には“枚方初のひらかた市民共同発電所”として太陽光発電装置を保育園に設置し、そして 2011 年は自然エネルギー学校第 3 回セミナーの中で、部会員の手作り装置による“枚方初のピコ水力発電の穂谷エネルギースポット”の点灯式を竹内脩市長立会いのもと行うなど、より多くの人達に自然エネルギーへの理解と普及に取組んできました。

「枚方の地で初めての試みであっても、まず、意識を持って実践してみよう！」という気持ちで自然エネルギー部会の活動を今後も続けていきたいと思います。



↑手作りのピコ水力発電。約４０Ｗの発電が可能

↑第 3 回自然エネルギー学校最終日の集合写真

■他団体連携事業■ ～環境フィールドワーク体験学習～

↑11 月 13 日の参加者の様子

市内の環境団体との連携を深め、より多くの市民に環境への関心を高めてもらう為、今回初めて他団体連携事業として「枚方いきもの調査会」との連携によるバードウォッチングや植物観察を主としたフィールドワーク体験を 11 月 13 日(木)に枚方市野外活動センターにて行いました。

参加者は枚方市にこんなにも沢山のめずらしい野鳥や植物がいる事に驚いた様子で、この自然を守るにはどうしたらよいか考える、よい機会になったと話していました。

「NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会」による間伐材を利用したウッディクラフトの体験は 11 月 19 日の予定でしたが雨の為、延期となりました。平成 24 年 1 月～2 月の間で開催予定です。参加は無料。子供も可。お申し込みはひらかた環境ネットワーク会議事務局まで(℡072-847-2286)

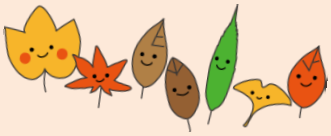
まちづくり部会

↑市民会館大ホール前「市と三姉妹」の作品

歴史文化遺産の保存と活用って?!

突然ですが他府県の方から枚方の説明を求められた時どのように答えますか？
他府県でどこから来たか聞かれ“枚方”と答えると「菊人形のところ」「ああ、枚方パークのあるところ」と言われる事がしばしばあるように、菊人形は枚方を特徴づけるものと言えるのではないでしょうか。まちづくり部会では、今回この“菊人形”の保存・継承問題を取り上げたいと思っています。なぜまちづくり部会が菊人形の事を?と思われるかもしれませんが、環境基本計画の基本施策「美しいまち並の確保」の中の歴史文化遺産の保存と活用で、「歴史文化遺産を後世に継承していくことにより、郷土への愛着や連帯感を強め、まちの賑わいの増進を図ります。」とあり、他項でも「伝統・伝承文化を保存・継承します。」と記載されているのです。このことから、環境基本計画の推進パートナーである環境ネットワーク会議としては、冒頭に記したように“菊人形”の保存・継承問題を取り上げようと考えているのですが、果たしてこの問題は前述にある歴史文化遺産の保存と活用に該当する事柄なのでしょうか。部会ではそこのところから話し合っていきたいと思っています。ちなみにこの記事をお読み頂いている皆さんはこの問題を、どのように考えますか。

イベント予告　タイムスリップ探偵―ここはどこ?―



枚方市制制定から 60 年余りがたち、枚方のまち並は全国のそれと同様、特に 1960 年以降大きく変貌してきました。当時のまち並の写真を見ても、はたしてそれがどこなのか特定するのが難しいぐらいです。そこで、まちづくり部会では、枚方市が行うまちかど美術館創出プランによる縁のある絵図や写真の展示盤設置に合わせ、まちかどの古い写真を見て、そこがどこかを地図上のヒントをもとに街道を歩いて特定するクイズラリー“タイムスリップ探偵―ここはどこ?―”の開催を計画しました。枚方京街道(岡本町商店街)周辺にて、3 月初旬開催を予定していますが、詳細はおってお知らせします。素敵な景品も準備しようと考えていますのでご期待下さい。

■平成23年度「第3回理事会」の報告■

平成 23 年度第 3 回理事会を、10 月 14 日(金)にサプリ村野で理事総数 15 名中、14 名(委任状出席含む)が出席し開催しました。4～9 月（上半期）の予算執行状況が事務局から報告された後、石川聡子理事が、教育サポート部会長及び理事・運営委員を退任され、後任に部会長及び運営委員として谷口興紀(おきのり)氏の就任が承認されました。又、ごみ部会の廃止についても報告されました。

↑平成 23 年度第 3 回理事会の集合写真

お知らせコーナー

ボランティアスタッフ募集

■「エコフォーラム」スタッフ募集■

日　時　①2 月 3 日(金)　10:00～
②2 月 4 日(土)　9:30～16:00
※両日とも 3 時間程度から

場　所　メセナひらかた

内　容　①搬入、搬出、設営等
②案内、運営補助、ブース出展等

ひらかた環境ネットワーク会議を中心とした地球温暖化対策の活動を市民に知って頂く絶好の場です！！ぜひ、一緒にエコフォーラムを盛り上げませんか？お手伝いして下さる方、事務局までご連絡下さい。

■エコチェックシート集計スタッフ募集■

2011 年 11 月から枚方市全域に 5 万部配布しましたエコチェックシートですが、現在、続々と事務局に回収されてきています。

報告書の作成に向け、集計入力の作業をお手伝いして下さる方を募集しております。簡単な作業ですので、お手伝い頂ける方は事務局までご連絡をお願いします。

日時：平日の 10：00～16：00 いつでも OK

場所：サプリ村野 3 階事務局

1 時間でも OK です。

お好きな日時でお越し下さい。

ホームページ掲載用風景写真募集

当会の HP のトップ画面で使用する写真を募集しています。市内で撮ったあなたのお気に入りの写真を応募してみませんか？

内容：(1 人何枚でも OK 但し、1 ヶ所につき 1 枚)

① 枚方市内で撮影された四季を感じられる風景写真

② 無断で他人の肖像権を犯したものでないこと

その他：

・写真はメールで送れるサイズでの添付でお願いします

・応募頂いた作品についての著作権は当会の所属となることをご了承下さい

応募方法：

名前・連絡先・写真の撮影場所を明記の上下記のメールアドレスに写真を添付してお送り下さい。

メール：jimukyoku@hirakata-kankyou.net

※応募頂いた中から、当会の HP のトップ画面にふさわしい写真を選択し、使用させて頂きます

プルタブ・エコキャップの回収報告

●プルタブ 11 月郵送分は 38.3kg

●エコキャップ 9・11 月郵送分 23400 個

お手伝い頂きました大勢の皆様、ご協力ありがとうございました。

※プルタブは車椅子の材料として、エコキャップはポリオワクチンの購入資金として寄附されます

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
☎０７２・８４７・２２８６

会員数 146 名：正会員　136 名（個人 104、非営利団体 21、営利団体 11）
賛助会員 10 名（個人　9、非営利団体　1、営利団体　0）※平成 23 年 12 月 15 日現在

それゆけエコ企業！！

枚方市地球温暖化対策協議会の会員で地球温暖化防止に積極的に取り組んでおられる、元気な事業者さんを紹介するコーナーです。
今回は「株式会社くらこん」さんです！

アイディアで勝負！環境を守る為に出来る事は？

→昆布の廃棄物から出来た肥料。ミネラル豊富で植物が良く育ちます

海の恵みである昆布の事業が中心の㈱くらこんは「自然との共生」を重要課題と考え、工場内での省エネ対策はもちろんのこと地域周辺や川の清掃、植樹など社員一丸となって、さまざまな環境保全活動を行っています。その中でも目を引くのが「ゼロエミッション」に向けた取り組みである廃棄物の削減です。肥料や飼料として再利用など試行錯誤をし、4年間で90%の削減に成功しました。これらの活動が認められ(財)食品産業センター主催ＣＳＲ環境部門審査で最優秀賞の農林水産大臣賞や、その他環境分野で多数受賞をしています。

製造本部長の松井隆史氏は九州工場建設時、工場周辺にホタルが飛んでいるのを目にし“この素晴らしい環境を崩してはいけない”そう心に強く思ったそうです。「環境保全するには資金を掛ければいくらでも出来る事はあるが、社員一人一人が環境の為に何ができるか考え、小さい事でも出来ることから始める」と話し、枚方工場でもホタルが見られるよう、環境負荷のかからない工場を目指し、日々挑戦し続けると語って頂きました。

ひらかた環境ネットワーク会議は発足して７年経ち、環境に対する意識啓発に取り組んできましたが、徐々に意識の高まりが感じられるものの、まだまだ十分だと言えないのが現状です。くらこんの取材を通して、環境保全への思いや行動に見習う事が多々あり、刺激を受けることができました。

皆さんも自分に出来ることから見つけて何か始めませんか？

←室外機に社員のアイディアで日よけネットを設置。ピーク時の電気使用量10％削減に成功

株式会社くらこん（枚方工場）
〒573-1132　大阪府枚方市招堤田近3-9
TEL:072-851-0301　HP:http//www.kurakon.jp

ひとこと

流行語大賞なるものが年末に発表され、去年は「なでしこジャパン」でした。世相を象徴し、誰もがそうだなとうなずかせる言葉には、確かにパワーが感じられます。ひらかた環境ネットワーク会議は、準備段階から、そろそろ１０年になります。その活動をわかりやすく表現し、且つパワーが感じられる言葉があるだろうかと考えてみました。この会報の表紙の上にある言葉が、ヒントかもしれません。【市民・事業者・行政が協働】【環境保全都市を実現】。私見で、もっと具体的な言葉を加えれば、【一人ひとりがエコチェック】【とり入れよう自然エネルギー】でしょうか。皆さんはどんな言葉を選びますか？

記　井上祥子

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第32号

平成24年1月1日発行（年4回発行）
発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号
サプリ村野内（旧村野小学校）
電　話　072-847-2286ＦＡＸ　072-380-4591
Ｅメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net
ホームページ http://www.hirakata-kankyou.net
発行責任者：田中　晃
編集責任者：廣田 武司
この会報誌は古紙再生紙・ソイインクを使用しています。
尚、会報誌はHPでも掲載しており、HPではカラーで見られます。